墨田区のお知らせ2012.9.21　NO.1687（毎月1日・11日・21日発行）

すみだ

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

発行：墨田区（広報広聴担当）☎5608―1111代表　〒130―8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

●2面以降の主な内容
2面…自転車放置禁止区域の指定
3・4面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●9月28日：「すみだ健康区宣言」が議決された日

誰もが生涯にわたって健康づくりに取り組むことを誓う「すみだ健康区宣言」が、昭和59年のこの日に議決され、10月7日には宣言式典が開催された。

健康づくりシンボルマーク

http://www.city.sumida.lg.jp/

[左上]親子でくつろげる〝はだしのコーナー〟などを備えた「こども図書室」　**[右上]**生活を楽しむための多様な図書などをそろえた書架　**[左下]**文化・観光・産業などの地域情報等を発信する〝催し・展示用スペース〟も備えたロビー　**[右下]**「（仮称）統合新図書館」の外観（2階～5階部分）

来春、利用者の声を活かした図書館が京成曳舟駅前に誕生

（仮称）統合新図書館

区では、社会状況や図書館の利用者ニーズの変化に合わせた新たなサービスをご提供するため、「あずま図書館」と「寺島図書館」を統合し、来年3月末に「（仮称）統合新図書館」を京成曳舟駅前に開館します。利用者の皆さんの声を運営に活（い）かして、サービス面などを充実させ、より多くの方に親しまれる図書館をめざしていきます。

近年、図書館のホームページを閲覧する方や、その画面から資料を予約する方が急増しているほか、高齢者の利用が増加し、子どもの利用が減少するなど、図書館の利用状況に大きな変化が見られます。

区では、新たな利用者ニーズに対応するため、狭小化した「あずま図書館」と老朽化した「寺島図書館」を統合し、京成曳舟駅前に建設中の再開発ビルの2階～5階部分に新しい図書館を設置します。この「（仮称）統合新図書館」は、右のとおり、4つの基本理念に基づいてサービス面・設備面での充実を図り、来年3月末に開館します。

また、催しや事業を企画するボランティアリーダーを養成するなど、利用者と協働で運営する図書館をめざしていきます。どうぞ、ご期待ください。

■（仮称）統合新図書館の概要

[開館時間]午前9時～午後9時　＊日曜日・祝日は午後5時まで**[休館日]**毎月第3木曜日、年末年始**[収蔵資料数]**約40万点**[専有面積]**約3400m²

[問合せ]あずま図書館
☎3612－6048　＊自動音声メニューの「8」を選択

■今後のスケジュール

平成25年1月～	「寺島図書館」の業務縮小
25年2月～	「あずま図書館」の業務縮小
25年3月末	▶新システム導入に伴う全館休館 ▶「（仮称）統合新図書館」の開館

㊟業務縮小期間中は、予約資料のみの貸出し・返却を行い、開館時間を短縮します。詳しくは今後、本紙でお知らせします。

■4つの基本理念と、それに基づく主なサービス

生涯学習の拠点としての図書館

新規　**自動貸出機・返却機、自動出納書庫の導入で素早く便利に**

▶セルフサービスで資料の貸出し・返却ができ、プライバシーを保護　▶書庫（閉架）に保管されている資料の取出しを自動化することで、待ち時間を短縮

充実　**無料で閲覧できる昔の新聞などの数（種類）が増える**

有料のオンラインデータベースのうち、館内のパソコンを使って無料で閲覧できる昔の新聞などの数（種類）が増える

区の情報センターとしての図書館

新規　**画像等の情報を映し出すディスプレイから、常時、情報を入手できる**

デジタルサイネージ（電子看板）を館内各所に設置し、館内資料の情報や、生活情報を表示するほか、災害時には災害情報を発信

充実　**区内の昔の写真や地図、錦絵などを簡単に探せる・見られる**

書庫に保管されている古い・大きい地図や図版など、一般公開が難しかった資料をデータベース化し、簡単に閲覧できる

区民や地域の課題解決を支援する図書館

新規　**ICタグで検索能力がアップ！資料の周辺情報が一目瞭然**

ICタグを専用の装置で読み取ることにより、当該作者のほかの作品や、関連図書・参考図書などを簡単に調べることができる

充実　**調査研究・学習を支援する体制がパワーアップ！**

▶「情報サービスコーナー」を設け、質問等への対応を強化　▶個人利用者が集中できる「学習席」や、グループ利用者が自由に話し合える「グループ学習室」を設置（予約制）

すべての利用者にやさしい図書館

新規　**子どもが本に夢中になれる独立したスペース**

子ども向けのスペース「こども図書室」を、子どもや保護者がほかの利用者に気を遣うことなく利用できるよう、ほかのスペースと離れた場所に設置

充実　**障害者や高齢者など、誰もが快適に利用できる環境**

▶対面朗読や、録音図書・点字図書・拡大写本などの作成を行う「ボランティア作業室」や「録音室」などを完備　▶誰もが使いやすいユニバーサルデザインを導入

図書館は〝文化と知識の泉〟です

朗読奉仕くさぶえ　会長
金子　キク子さん（江東橋四丁目在住）

「朗読奉仕くさぶえ」は、視覚障害のある方など、文字を読むことが困難な方への音訳を行っています。このほか、図書館の行事や特別養護老人ホームでは、紙芝居等で協力し、図書館とともに長年歩んできました。

図書館は〝文化と知識の泉〟といわれるように、たくさんのことを学べる貴重な場所だと思います。2つの図書館がなくなり、寂しく残念に思う方の気持ちを汲（く）みながら、魅力あふれる図書館をめざして、私も微力ながらお手伝いしたいと思います。

図書館を〝人と人が出会える場所〟にしたい

新図書館開館プロジェクトリーダー養成講座
受講生　近　直之さん（向島四丁目在住）

講座では、図書館を良くしたいという共通の思いをもつ仲間と、誰もが楽しめる企画や便利なサービスなど、図書館をどうしていきたいかを話し合えるので、とても楽しいです。

これからの図書館は、本の貸し借りだけでなく、ほかの目的でもみんなが集まる、人と人が出会える場所であることが大切だと思います。図書館を中心としたコミュニティづくりを行い、図書館を良くしたいと思う人たちが自由に意見を出し合える環境をつくっていきたいです。